



JPI催しのご案内

2017
3

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 平成29年3月23日(木) [第1部]10:30~12:00 [第2部]13:15~15:00 [第3部]15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第214回輸送包装研究会

10:30~12:00

【テーマ】空港内オペレーションの実態

国際航空貨物の輸送過程でどんな荷役があり、貨物に対してどのように影響するか、情報を得る機会は少ない。日本貨物航空株式会社では、森松産業株式会社とエクサーチ株式会社の協力のもと、空港内で発生する振動・衝撃加速度イベントを、模擬オペレーションによって集中的に計測した。その際、荷扱いのケアレベルを3段階に設定し、加速度や周波数解析データを比較した。本講演では、空港内貨物オペレーションの動画やダミー貨物内で計測された加速度データなどについて報告する。

【講師】エクサーチ(株) 代表取締役 高木 雅 広 氏
 【コーディネーター】日本化工機材(株) R&Dセンター センター長 包装専士 加藤 千 明 氏
 王子産業資材マネジメント(株) 包装技術開発センター 研究開発本部 包装管理士 椎 橋 礼 子 氏

第2部 第214回包装ラインシステム化研究会

13:15~15:00

【テーマ】分包機と包装システムについて

分包包装システムの最新技術について、実例をもとにご紹介す。
 ○高能力・高精度
 ロータリー計量装置の開発により従来の往復運動式の計量装置では考えられない毎分200ショットの高能力化と高精度な充填を実現
 ○二顆粒充填
 医薬品業界の求める薬効と安全性の向上に応えるため、二顆粒充填装置を開発。その配合比率の高精度化を可能にしました。A顆粒のみ、B顆粒のみ、AB二顆粒の秤量とフィードバック制御が出来る画期的なシステム
 ○高い汎用性
 サイズ交換ユニットの入替えにより短時間に分包の縦横サイズの変更ができ、一台で他品種大量生産が可能
 ○充実したオプション
 高速多連ウエイトチェッカー/レーザー捺印装置/捺印検査装置/外観検査装置/エレベータ式分包補充装置

【講師】株式会社 東陽機械製作所 営業部 東日本営業課 佐々木 将 一 氏
 【コーディネーター】CKD(株) 飯島 剛 氏
 ライオンエンジニアリング(株) エンジニアリング事業統括部 技術部 包装グループ チーフリーダー 大野 良 二 氏

第3部 第216回包装資材研究会

15:15~17:00

【テーマ】海外展示会(K2016等)にみる包装関連情報とトピックス、及び、海外の包装事例紹介

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス(東洋紡PPS)では、代表的な海外の包装関連展示会で包装関連情報および包装サンプル等入手し、また、海外の包装サンプルを現地スーパーマーケット等で入手し、海外の包装のトレンドおよび包装事情についての情報を継続的にウォッチし、報告して参っております。本講演では、これらの活動の中から、世界最大のプラスチック・ゴム産業展である「K2016」等で見られた包装関連のトピックスについて紹介するとともに、最近の海外の包装事例についても紹介し、東洋紡PPSなりの考察を加えたいと思っています。

【講師】(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 技術総括部 部長 松田 修 成 氏
 【コーディネーター】ニッターパック(株) 品質保証室 テクニカルフェロー 包装管理士 山口 秋 司 氏
 (株)ロッテ マーケティング統括部 パッケージ・デザイン企画部 パッケージ企画室 主査 包装管理士 加藤 宏 治 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

3月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部・第3部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部・第3部
	(e-mail)	@	

【見学先】化学研究評価機構 東京都江東区東雲2-11-17
 【日時】平成29年3月14日(火)13:00~16:30 (予定)集合時間:12:50
 【定員】30名 ※定員超過の場合は1社/1名とさせていただきます
 【集合場所】化学研究評価機構 1F受付 (予定)
 【参加費】JPI会員の方無料

★お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。
 ★お申し込み方法は紙面に第294回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。
 ★参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。
 ★同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

第59回包装情報ステーション

日時:平成29年3月14日(火) 13:30~16:30
 会場:化学研究評価機構 会議室 参加費:JPI会員の方無料

講演(13:30~15:00)

再生ポリプロピレン材料の耐候性評価

一般財団法人 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター

東京事業所 所長補佐 兼 高分子・製品安全試験課長 兼 標準化事業室長

佐藤 圭祐 氏

プラスチックの劣化は製品の破損原因の一つとして指摘されており、その評価・解析技術の開発についてのニーズは高い。しかしながら、劣化要因は多様でかつ複雑であり、また、品質管理や品質保証等の目的でプラスチックの耐久性をあらかじめ予測するための試験にも長期間を要する。例えば、耐候性評価についてもこれまで多くの取り組みがなされてきているが、材料のグレードまで考慮した明確なデータは極めて少なく、実際に使用するプラスチックの劣化を予測するために利用可能な手法やデータベースのような形では成果がとりまとめられていないのが現状です。

そこで今回、プラスチックの劣化要因の中で耐候性に的を絞り、再生ポリプロピレンの劣化を評価することで、プラスチックの耐久性の予測精度向上に応用できるデータベース構築の一助とした。もとより、プラスチックの耐久性を一つの指標で判断することは困難でありかつリスクを伴うが、今後、耐熱性や耐薬品性、環境応力性など他の劣化要因のデータベースにつなげられれば、プラスチックの耐久性の予測に利用可能な手法として活用できると考えられることをご説明します。

平成28年度 医薬品包装セミナー

医薬品の信頼性保証と適正な表示・包装を目指して

【開催要領】

日時:平成29年3月10日(金) 10:00~16:00

参加費:1名につき 会員 18,360円・※同時に3名以上でお申込みの場合、割引価格として1名15,120円(消費税8%、テキスト代含む)
1名につき 一般 27,000円(消費税8%、テキスト代含む)

会場:(公社)日本薬学会 長井記念ホール

定員:100名(定員になり次第締切となります)

【プログラム】

時間	講演テーマ	講師
10:00~11:10	『これからの信頼性保証とGDP(医薬品の物流に関する基準)』	大隈物流(株) 山川 栄明 氏
11:20~12:30	『医薬品の薬効を示すピクトグラムの作成とその必要性』	京都薬科大学 高山 明 氏
13:30~14:40	『メディカルデザイン思考によるパッケージ開発の可能性』	(株)プラグ 小川 亮 氏
14:50~16:00	『医療現場の立場から包装に思うこと』	秀和総合病院 日比 徹 氏

詳しくは専用パンフレット及び当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

第4回包装近未来シンポジウム

～科学技術イノベーションと包装～ロジスティクス・情報技術・新素材の観点から～

日時:平成29年3月29日(水) 10:00~17:00 会場:(公社)日本包装技術協会 会議室
 参加費:会員1名 18,360円 ※同時に3名以上でお申込みの場合は1名15,120円/ 一般1名 27,000円 定員80名

時間	講演テーマ	講師
10:00~11:00	物流を取り巻く環境変化と今後の展望・課題について —トラック輸送を中心に—	(株)日通総合研究所 上田 実 氏
11:10~12:10	ロジスティクスにおける情報技術の活用(仮)	大日本印刷(株) 中野 茂 氏
13:10~14:10	食品輸出の実態と様々な鮮度保持技術について(仮)	郵船ロジスティクス(株) Symphony Creative Solutions Pte.Ltd. 細見 源介 氏 原岡 哲也 氏
14:20~15:20	東洋紡のフィルム事業の環境対応戦略	東洋紡(株) 森重地加男 氏
15:30~17:00	パネルディスカッション	上記講師と企画委員

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。

2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
 ●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>